



粕谷家は、徳丸脇村名主粕谷家から  
浅右衛門が、享保11年(1726)以前に  
この地にいんきよ隠居し、別家となったことに  
始まります。その際に隠居料を与えら  
れ、慶応元年(1865)における持高は  
30石でした。また、幕末にかけて徳丸  
脇村の年寄・組頭役を務めました。

建物は、桁行約16.25m、梁間約8.2m  
の寄棟造りの茅葺です。平成29年度まで  
実施した復元工事によって、南東角の柱  
組から「享保八年(1723)卯二月三日…」  
の墨書銘が発見されました。このこと  
から建築年代が判る建造物としては都内  
最古級のものであり、移築されずに建築  
当初の場所に建っていることを加えると、  
非常に重要な文化財と考えられます。



梁

きゆうかすやけじゆうたく  
旧粕谷家住宅  
板橋区登録有形文化財(建造物)  
東京都指定有形文化財(建造物)